

A区分・B区分・C区分共通

No.1(実演芸術)

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	演芸
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ はじめ 株式会社 創	団体ウェブサイトURL	http://www.haijime-performing.co.jp/
代表者職・氏名	代表取締役 柿花 比呂美		
制作団体所在地	〒 534-0011 大阪府大阪市都島区高倉町1丁目2番18号	最寄り駅(バス停)	JR 城北公演通
電話番号	06-6456-0400		
ふりがな 公演団体名	ちびっこよせ みんなでつくりさんかする みんなのよせ ちびっ子寄席 みんなで作り参加する みんなの寄席	団体ウェブサイトURL	
代表者職・氏名	柿花 惇史		
公演団体所在地	〒 544-0023 大阪府大阪市生野区林寺5丁目4番20号	最寄り駅(バス停)	JR 寺田町
制作団体 設立年月	2014年 7月		
制作団体組織	役職員 代表取締役 柿花 比呂美 取締役 柿花 龍治	団体構成員及び加入条件等	落語協会 落語芸術協会 上方落語協会 関西演芸協会 等に加盟する協会員で『ちびっこ寄席』及び『文化芸術による子供育成総合事業』の主旨に賛同する者で構成。
事務体制 (専任担当者の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業担当者名	飯田 優太
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	大槻 哲

制作団体沿革	・1963年 創業 ・1988年 芸能及び販売促進部門開設 ・1989年 枚方市身体福祉協議会創立。 記念式典プロデュース・1990年 枚方市民ふるさと寄席を実施 ・1994年 学校芸術鑑賞会を実施 ・2008年 社名を株式会社 創に改名 ・2010年『子どもの為の優れた舞台芸術体験事業』九州ブロック担当 ・2011年『子どものための優れた舞台芸術体験事業』関東ブロック担当 ・2012年『子どものための優れた舞台芸術体験事業』東海ブロック担当 ・2013年『次代を担う子どもの文化芸術体験事業』九州ブロック担当 ・2014年『文化芸術による子供の育成事業』 関東ブロック担当 ・2015年『文化芸術による子供の育成事業』 四国ブロック担当 ・2016年『文化芸術による子供の育成事業』 関東東北ブロック担当 ・2017年『文化芸術による子供の育成事業』 作品制作・進行に参加 ・2017年『大阪市北区学校教育活動支援事業』 作品制作・進行に参加 ・2018年『大阪市北区学校教育活動支援文化芸術体験事業』に作品が採択 ・2019年『大阪市北区学校教育活動支援文化芸術体験事業』に作品が採択 ・2020年『文化芸術による子供育成総合事業』 中国ブロック担当		
学校等における公演実績	文化庁巡回公演事業 2010年～2016年に狂言、2020年にちびっ子寄席で採択 それ以外に、小学校、中学校、高等学校、を中心に22年間で約450校を実施 2017年 かつらぎ町教育委員会 公演。 2018年『大阪市北区学校教育活動支援事業』シルクロードコンサート採択。 2019年『大阪市北区学校教育活動支援事業』寄席採択。まんのう町教育委員会、留寿都村教育委員会公演。 2020年『次のにない手を育成する子供向けコンテンツ制作事業』採択。中学校にてジャズ公演。 ○ちびっ子寄席 近年の学校公演実績 2017年 大東市立四条中学校,生駒市立老部小学校,津市立桃園小学校 他 計12校 2018年 北名古屋市長久寺中学校,加茂文化センター(小学生向け公演) 他 計29校 2019年 留寿都村教育委員会(小学校公演),野洲市立北野小学校,広島県立廿日市西高等学校、他 計8校 2020年 木津川市立泉川小学校 他14校 2021年 橿原市立耳敏傍北小学校		
特別支援学校等における公演実績	平成13年京都市 鳴滝総合支援学校 平成20年大阪府 中央図書館 わんぱく文庫(視覚障害児支援サークル) 平成23年千葉県 四街道特別支援学校 (文化庁 巡回公演) 平成27年福岡県 福岡聴覚特別支援学校(文化庁 巡回公演) 令和 元年大阪市 堀川小学校 聴覚支援教室		
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/FhIk5BiDtpA	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:	

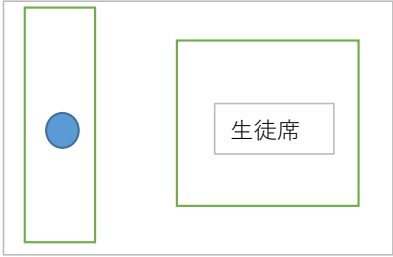
公演・ワークショップの内容

【公演団体名 **ちびっ子寄席 みんなで作り参加するみんなの寄席**】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	ちびっ子寄席			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	ちびっ子寄席 みんなで作り参加するみんなの寄席 (別添有り) 東西寄席 ①一番太鼓に挑戦 ②落語・寄席囃子教室 ③上方落語 ④なぞかけ大喜利 ⑤仲入り ⑥色物 ⑦江戸落語 ⑧みんなでかつぼれ ⑨事後交流会 公演時間 90～100 分			
	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否		該当なし	該当コンテンツ名
著作権、上演権利等の 許諾状況	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	
	演目概要 ①一番太鼓に挑戦 …寄席の開場を知らせる太鼓を落語家指導の下、児童・生徒の皆さんに元気いっぱいに打って頂きます。 ②落語・寄席囃子教室 …子供達にも分かりやすく落語をおもしろく解説します。普段は見る事が出来ない寄席の楽器にも注目です。 ③上方落語 …派手で陽気な上方落語をお聞かせください。 ④なぞかけ大喜利 …児童・生徒によるなぞかけの発表です。どんな仕組みになっているか会場の皆さんも考えて頂きます。 ⑤仲入り …休憩です。 ⑥色物 …寄席の色変わり 視覚的变化のある出し物をご覧ください。研ぎ澄まされた技の数々をご覧ください。 ⑦江戸落語 …続いては粋で洒脱な江戸落語の登場です。先ほど聞いた上方落語との違いに注目してください。 ⑧みんなでかつぼれ …寄席の踊りのかつぼれを落語家が披露、児童・生徒にも発表して頂きます。会場の皆さんも手拍子で参加です。 ⑨事後交流会 …今日の公演を見て聞いてみたいこと、話したいことを伝える質問型交流会です。			
演目選択理由	寄席演芸は、その日、その時の観客の状況や反応に応じて変化させ演じていくという一過性の舞台芸術です。二度と同じ舞台を再現できないからこそ、生で鑑賞する醍醐味がそこにあります。この特性に触れていただき、子どもたちと一緒に作り上げる体験を通して、感性や想像力を育てて頂きたいと思います。子どもたちのワークショップでは一番太鼓、なぞかけ、高座のお茶子、かつぼれを取り入れました。一番太鼓では、寄席演芸の特徴ともいえる口伝と身振り手振りで子供達に一番太鼓のリズムを指導します。落語家から直接伝えられる一番太鼓を打つことで、みんなが寄席を創り上げる一員であるという意識を持って頂きます。なぞかけでは少し複雑な言葉遊びを理解し、子どもたち自らで考えて頂きます。普段考えないような言葉選びをすることで子どもたちの発想力・想像力をかきたてます。高座のお茶子では、寄席の舞台の仕組み・ルールを学び歴史を感じて頂きます。また、表舞台に立つ人だけでなく、裏で支える仕事をしている人の重要性を理解して頂きます。かつぼれは庶民の踊りでもあり、寄席の踊りです。代表的な日本の踊り「日本舞踊」では、ニコニコしながら踊ったり、表情を出すのはNGですが、かつぼれはお客様との空気感を第一に考えます。もっというと、踊りはうまく踊れなくても、お客様が盛り上がりたければ良いというような踊りです。そこから言葉だけでなく踊りなどの表現を通じてのコミュニケーションの方法を肌で感じて頂きます。 演目内容は、江戸、上方の落語の成り立ちや道具、様式、風土や文化の違いの説明、東西の文化芸術の違いがよくわかる内容を選びました。子どもたちに本物の演芸に触れ、文化や歴史の違い、ものを創る喜び、コミュニケーションの大切さ、イメージする楽しさを知っていただく番組構成となっています。			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	4つのワークショップに班ごとに分かれて体験して頂きます。いずれも学校様のご事情に合わせて人数の増減や内容の変更のご相談を承ります。 ①一番太鼓に挑戦 1名～30名 寄席の開演を知らせる合図となる一番太鼓をワークショップで落語家が指導し、本公演の入場時に実演して頂きます。児童・生徒が難しいと感じる場合は、複雑なリズムの部分は落語家が叩き、子どもたちは簡単なリズムのみ叩きます。入場が終わるまで交代で叩き続けます。 ②なぞかけ大喜利 1名～6名 ○○とかけて、○○ととく、その心は○○です。こういうようななぞかけを、ワークショップで考え、本公演で発表して頂きます。お題は一つは共通のテーマで、もう一つは自由なテーマで考えて頂きます。 ③高座のお茶子に挑戦 1名～6名 高座の座布団の返し、名びらの返し、見台・膝隠しの上げ下げなどに挑戦して頂きます。ワークショップでそのしきたりやルールから指導し、本公演で実際の舞台の転換で披露して頂きます。 ④みんなでかつぼれ 1名～30名 寄席の踊りかつぼれをワークショップで指導し、本公演で発表して頂きます。踊る箇所は子どもに難易度を合わせ代表的な4ポーズ程度に限定して行います。			
出演者	①江戸落語・かつぼれ 芸歴15年～30年前後の江戸落語家 三遊亭 金八、三遊亭 とさん、桂 やまと 他 ②上方落語・解説 芸歴15年～30年前後の上方落語家 笑福亭 喬若、笑福亭 智之介、桂 阿か枝、笑福亭 生喬、林家 染雀、林家 染八 他 ③色物 松旭斎 天鰯(手品)・豊来家 一輝(太神楽)・ラッキー舞(太神楽)・豊来家大治郎(太神楽)・キタノ大地(マジック)・ビックリ ツカサ(マジック) ④太鼓 桂 小梅、林家染八、笑福亭 智丸、月亭 秀都、桂 白鹿、笑福亭 希光、月亭 遊真、桂枝之進 ⑤三味線 はやしや 絹代、はやしや 律子、はやしや 薫子、はやしや 香穂、岡野 鏡 他			

本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者: 5 名 スタッフ: 4 名 合 計: 9 名		運搬	積載量: 2 t 車 長: 6 m 台 数: 2 台			
本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		有	前日仕込み所要時間		2 時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	8時30分	8時30分～12時		13時30分～15:10分	10分	15時～17時	17時
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。						
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決 定後に確認します。(大幅な変更は認 められません)	6月	7月	8月	9月	10月		
	22日	10日	9日	20日	21日		
	11月	12月	1月	計	143日		
	22日	21日	18日				
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						
児童・生徒の 参加可能人数	本公演		共演人数目安	5～50名			
			鑑賞人数目安	10～800名			
公演に係るビジュアル イメージ (舞台の規模や演出や がわかる写真) ※採択決定後、採 択団体へ図面等詳 細の提出をお願い します。	児童・生徒共演形態 参考写真						
	①一番太鼓に挑戦 ②なぞかけ大喜利 ③高座のお茶子に挑戦 ④みんなでかっぱれ						
			①一番太鼓に挑戦		②なぞかけ大喜利		
							
			③お茶子体験				
							
		④みんなでかっぱれ					

【公演団体名 ちびっ子寄席 みんなで作り参加する囃んなの寄席】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	5名～50名程度(これ以上の人数のご希望はご相談 に応じます。)
ワークショップ 実施形態及び内容	①一番太鼓に挑戦 1名～30名 寄席の開演を知らせる合図となる一番太鼓をワークショップで落語家が指導し、本公演の入場時に実演して頂きます。児童・生徒が難しいと感じる場合は、複雑なリズムの部分は落語家が叩き、子どもたちは簡単なリズムを叩きます。本公演ではで開場から入場完了まで打ち続けて頂きます。 ②なぞかけ大喜利 1名～6名 〇〇と掛けて〇〇と解く その心は・・・という方程式に当てはめながら『謎かけ』をつくります。お題(〇〇と掛けて)は二つ。一つは共通テーマで、もう一つは自由テーマです。5～6名の児童・生徒の皆さんが各々のテーマで作った謎かけを発表するのが大喜利です。同じテーマでもそれぞれ違った謎かけが考えるのが楽しいワークショップです。 ③寄席のお茶子に挑戦 1名～6名 寄席のプログラムは出囃子の演奏とお茶子さんの登場で次へと転換します。高座の座布団の返し、名びらの返し、見台・膝隠しの上げ下げなどに挑戦して頂きます。日本の伝統文化は挙措の美しさを重んじますが、お茶子さんと同じです。本公演で挙措の美しいお茶子さんを披露して下さい。 ④みんなでかっぽれ 1名～20名 寄席の踊りかっぽれをワークショップで指導し、本公演で発表して頂きます。踊る箇所は代表的な4ポーズ程度に限定して行い誰もが踊れるように工夫しています。 出来るだけ沢山の児童・生徒の皆さんがワークショップに参加し、本公演で共演して頂けるような内容です。但し、学校のご事情等で一部内容を変更・割愛する事も出来ます。また、参加人数を上回る子ども達がワークショップを鑑賞する場合は公開授業のような形でご指導いたします。共演の児童・生徒の皆さんとは事前・事後、打ち合わせを行い、フォローアップいたします、		
ワークショップの ねらい	一番太鼓では、寄席演芸の特徴ともいえる口伝と身振り手振りで子供達に一番太鼓のリズムを指導します。落語家から直接伝えられる一番太鼓を打つことで、みんなが寄席を創り上げる一員であるという意識を持って頂きます。なぞかけでは少し複雑な言葉遊びを理解し、子どもたち自らで考えて頂きます。普段考えないような言葉選びをすることで子どもたちの発想力・想像力をかきたてます。 高座のお茶子では、東西の寄席の違い、なりたちの違い等、舞台の仕組み・ルールを学び歴史を感じて頂きます。また、表舞台に立つ人だけでなく、裏で支える仕事をしている人の重要性を理解して頂きます。かっぽれは庶民の踊りでもあり、寄席の踊りです。代表的な日本の踊り「日本舞踊」では、ニコニコしながら踊ったり、表情を出すのはNGですが、かっぽれはお客様との空気感を第一に考えます。もっというと、踊りはうまく踊れなくても、お客様が盛り上がってくれば良いというような踊りです。そこから言葉だけでなく踊りなどの表現を通じてのコミュニケーションの方法を肌で感じて頂きます。		
その他ワークショップに 関する特記事項等	【支援学校の場合】 原則的にどの公演・ワークショップもご実施いただけます。 ワークショップの取り組み内容については、・お腹からおおきな声を出す。(発声方法)・早口言葉の体験・扇子・手ぬぐいの使い方、等々 全員で参加できるよう工夫いたします。まずは 体感から理解を深める事が出来るよう、子ども達の様子を伺いながら、落語家修業にチャレンジしていただきます。指導者経験豊かなスタッフもサポートいたします。 ■ワークショップは二部構成 一部;寄席のお話 二部;グループに分かれて実演指導  前半は皆で寄席のお話を聞きます。 このフォーメーションで公開授業 形式のWSも出来ます。  後半はグループに分かれて活動します。		

リンク先	No.2	【公演団体名 <u>ちびっ子寄席</u> みんなで作り参加する囃んなの寄席】
項目内容児童・生徒の 共演、 参加又は体験の形態	舞台写真 ちびっ子寄席 本公演風景 学校の体育館に寄席舞台が表れます  笑門来福 江戸の笑い      	